

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	そよかぜ			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月5日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	聞き取りに加えて、こどもや保護者の実際に様子、日常生活の記録を通して、アセスメントを行い、目標を考えている。目標や支援内容の目的や意図を保護者に説明したり、ニーズを伺う機会を設けている。支援内容については、担当者だけでなく療育会議にて職員全員と話し合う機会を設けている。	利用開始時の他、利用する中での変化についても、アセスメントができるように、定期的に聞き取りや日常生活の記録、生活の動画を通して確認していく。
2	活動プログラムの立案をチームで行っている。	週に1回程度、職員間で支援会議を実施している。そこで、支援内容、療育課題の内容を検討している。担当者以外も利用児童の課題や支援内容を把握して、療育に参加できるようにしている。	療育会議の内容は議事録にまとめ、利用の前に見直している。現在利用児童が増えており、利用児童1人に当てる話し合いの時間が減る可能性があるため、会議以外の場でも、打合せができる機会を作っていく。
3	利用時に、日常生活のこどもの様子や療育場面でのこどもの様子を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持つように心がけている。	保護者同席のもとで療育を行っている。保護者の方には家庭でも当施設と同じように課題や日常の関わりができるように課題内容を見ていただき、実際に取り組んでいただいている。課題内容の目的について、その場で説明を実施している。	保護者の方と丁寧に話す時間を十分に設けることが難しい場合もあるため、保護者の方のみ別日に来所していただき話し合う機会を設けている。今後は、保護者面談の日程の拡充も検討する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	周知や訓練等を実施したが、療育の時間長くなるなどして、説明が不十分であったと考えられる。	利用時の冒頭に説明するなどして、説明の時間を確保する。
2	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	周知や訓練等を実施したが、療育の時間長くなるなどして、説明が不十分であったと考えられる。	利用時の冒頭に説明するなどして、説明の時間を確保する。
3	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	周知や訓練等を実施したが、療育の時間長くなるなどして、説明が不十分であったと考えられる。	利用時の冒頭に説明するなどして、説明の時間を確保する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業所 そよかぜきっず

公表日 2025年 12月 5日

利用児童数 10名

回収数 9名 (割合90%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	0	0	0	他の子と時間がかぶっていても、場所が確保されている。	引き続きお子さんの活動に合わせたペースを確保していく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	1	どの先生になっても、同じように課題を出してもらっている。	引き続き療育内容の共有を継続していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	0	0	2	たまにおもちゃで散らかっている時がある	前のお子さんの利用時間が長引くと次のお子さんが来るときにおもちゃの片づけが終わっていないことがある。利用前のおもちゃの片づけを徹底していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	2	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	0	0	0	こちらが気になったことをすいあげて課題にとりいれてもらえる	引き続き課題に対する専門的な支援を継続していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	0	0	0	支援計画づくりや定期的な振り返りを丁寧にやっていただいています。親の要望（力を入れて取り組みたいこと）も反映させてもらっています。	引き続き保護者の方のニーズを確認しながら、計画を作成する。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0	本人の発達段階や状況にあった具体的な内容を立ててもらっています。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	0	0	3	小集団で手繋ぎ練習（散歩）や食事練習などをする機会があり、改善点を考えることができよかったです。定期的に行えると嬉しいです。	引き続きお子さんの状況に合わせて手つなぎ練習や食事指導を継続する。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	0	0	1		

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	0	0	1	ペアトレの内容が育児の参考になっています。個別療育で普段他の親御さんと話をする機会がありませんので良いです。	引き続き定期的なペアレントトレーニングを実施する。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	0	5		保護者同士の交流のニーズを確認しながら、イベントの開催を検討する。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	0	0	3		定期的なホームページの更新とその周知を行う。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	0	0	5		新規利用者に対して評価表実施時の時点で訓練が行われていなかったため新規利用の際に周知・説明を行うことを検討。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	5		新規利用者に対して評価表実施時の時点で訓練が行われていなかったため利用した段階で訓練を行うことを検討。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	5		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	0	0	0	きつずに通ってからとても良い変化をたくさん感じています。いつも子どもに合った寄り添った支援をしてくださり、親の悩みも解決してくださり、ありがとうございます。いつも親身に、また客観的な意見を伝えていただいております。親子で支えていただいております。ありがとうございます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		そよかぜきっず					公表日		2025年 12月 5日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○		同じ時間帯に利用する児童が増えてきたため個別療育をできるようにプラスチック段ボールを活用して仕切りを作ることを検討する。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○							
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子さんの状態や療育内容に合わせて、机やいす、おもちゃの配置を変えている。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			利用時間がやや長引いてしまい、片づけ終わっていないことがあるため、ゆとりを持って対応していく。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○							
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○							
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		必要に応じて、実施を検討していく。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○							
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○							
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○							
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○							
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○							
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○							
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○							

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		週に1回療育会議を行い、共有したり療育内容の改善を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		利用時間がやや長引いてしまい、片づけ終わっていないことがあるため、ゆとりを持って対応していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○	サービス提供記録以外にも、問題行動や課題の内容の記録を行い、振り返りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			